

東北アライアンス建設

アイリス含む6社と協定

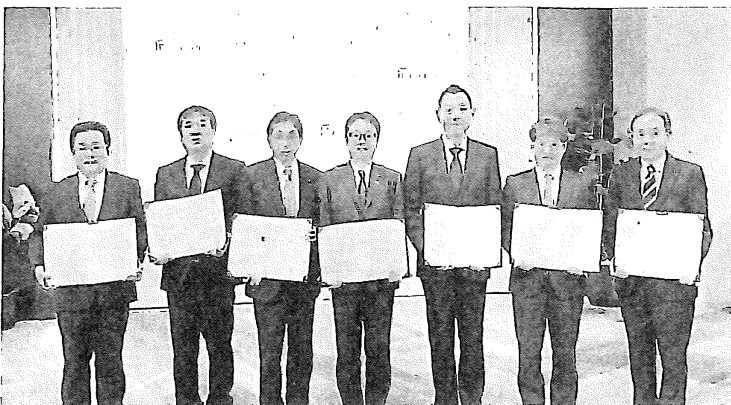
東北6県の有力な建設関連7社とみずほ銀行が共同出資する「東北アライアンス建設(TAC)」(福島県郡山市)は19日、アイリスオーヤマなど異業種6社と戦略的パートナーシップ協定を結んだと発表しました。アイリスが発光ダイオード(LED)照明や調光の無線制御技術、電気工事で協業するなど、多様な分野の企業との連携で新たなビジネスの創出を目指す。

LED技術など連携

協定を締結したのは、建設機械大手コマツや金融、デジタルトランスフォーメーション(DX)などの関連企業。TACは、施工技術の高度化、資材価格の高騰、災害対応など一企業での対応が難しくなっている広範囲にわたる課題解決につなげる。

締結式は東京であった。

陰山正弘社長は「単独では



協定書を持つ陰山社長(中央)と6社の代表者

とうほく経済

なし得ない成長を目指してTACは新設された。持続可能な建設業のモデルを確立したい」、アイリスの大

山晃弘社長は「東北が本社の企業同士、協力できてうれしい。最適な解決策を提供する」と、それぞれコメントを出した。TACは2025年6月に発足した。数百社規模で協力企業を募り、4月1日付で「東北トラスティア事業協同組合」を設立する構想も明らかにした。

(酒井原雄平)